

講義名	卒業研究				
講義コード	44401	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
担当教員	青木 良三	サンパニング・コード			

学部・学科	演習分野
・商学部経営学科	青木良三ゼミナール(経営戦略論)

概要説明
（１）研究課題 このゼミでは、経営戦略論の理論的・実証的研究を行います。理論と実証のバランスのとれた授業を行うつもりです。理論を苦手とする学生が多いですが、理論なき実証はあり得ないので、簡単に諦めず学習して欲しいと思います
（２）指導要領 ・しっかりした内容をもった卒論を書き上げることを目標に置くこととします。具体的には、卒論のテーマ探し、資料集め、執筆について指導します。まず、卒論のテーマをどのように探したらよいか説明します。ゼミ生の関心と能力を勘案の上、いくつかの候補の中から卒論のテーマを決めます。そして、資料集めの方法と必要な資料の「量」と「質」について解説します。資料が集まったところで、卒論の書き方を説明します。長い文を書くことに不安があると思いますが、懇切丁寧な指導をするつもりです。ゼミ生が卒論を書いている途中で何回か内容についてチェックするとともにアドバイスします。
・なお、授業は対面型ですが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンデマンド型もしくはライブ型となることがあります。

主な卒業論文のタイトル
『キャラクターと経営戦略』 『ホンダ・インサイトからみる経営戦略』 『資生堂の経営戦略』 『エネルギー業界の変化とそれに伴う関西電力の経営戦略』 『東京ディズニーランド&テーマパークの経営動向と比較』

教員よりの要望
・就活で大変だと思いますが、卒論を書いて欲しいと思います。短いレポートを書くのと違った経験ができます。就職してから長い資料を作成する際に役立つことは間違いありません。

選考方法
・とくになし。

評価方法	
・ 卒論の内容、 卒論執筆時の取り組み状況などを勘案の上、評価します。 ・ 講義形式（対面型からオンデマンド型、ライブ型へ）の変更があった場合でも、成績評価方法は変更しません。	
教員英字氏名	研究室
Aoki Ryoza	研究棟 207研究室
最終学歴	
東京大学経済学部	
学位	
学士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
・成長戦略、M＆A戦略に関するケースの開発 「ソニーの出井時代・経営ビジョンと企業業績 - 」中内ビジネススクール、2006年7月 「ファーストリテイリング -（企業目標の達成）- 」中内ビジネススクール、2006年7月 「経営戦略とリーダーシップスタイルとの関係」流通科学大学論集・流通・経営編 第24巻第1号 2011年7月 楊晋聰・青木良三 「卒業生大学生生活満足度調査にみる学生の取り組みと身についた力の経年変化の実態」 流通科学大学高等教育研究センター紀要 第9号 2012年3月 「ビールにおける味の差別化戦略の有効性について」2017年1月流通科学大学論集 流通・経営編 第29巻第2号 高小宇・青木良三	
趣味・特技	
・音楽鑑賞（とくにクラシック。CDを千枚以上もっています）、飲酒飲食（暴飲暴食になることが多い。最近は、新型コロナウイルス感染症のため、飲みに行けず）。 ・スポーツは、年1回のスキー（こちらも新型コロナウイルス感染症のせいで行けなくなった）。	
所属	
所属学会	
・組織学会	
専門分野	
・経営戦略論。多角化戦略やM＆A戦略、撤退戦略など。	
担当科目	
・経営学入門、現代ビジネス、経営戦略論A、B、ストラテジック・マネジメント、専門基礎演習、研究演習 、卒業研究	
備考	
・ゼミでの卒論の書き方のみならず、就活のアドバイス、相談にも乗ります。 ・講義について不明な点は、公開された電子メール（Ryoza_Aoki@red.ums.ac.jp）で対応します。 ・対面を希望する場合は、以下のオフィシアワーを利用してください。研究棟 207。 木 16:20～17:50 金 14:40～16:10	
実務経験の有無及び活用	
・実務経験あり。1979年から1997年まで銀行に勤務。産業調査や融資、ファンド運用を担当しました。授業で取り上げる企業の事例について、企業分析の実務経験を踏まえたコメントをすることができます。新聞記事の解説と違ったコメントができると思います。	